

小論文で押さえておきたい基礎

小論文は、受験者の思考力や論述力と他者に伝える力を見る。
問いに対する自分の主張を論理的に説明できるかが鍵となるぞ！

\\ 代表的な出題傾向はこれ！ //

課題提示型 テーマに沿って論述。

文章読解型 資料文を読んで論述。

資料読解型 図や表を理解して論述。



志望校の出題傾向を
把握しておこう！

＃1

情報収集

小論文は学部・学科に関連したテーマに沿って出題される。日頃からニュースや新聞をチェックして、どんな問題が起きているか、生じる議題は何か、それに対する自分の考えを整理しておこう。志望学問に近い時事問題や基本的な用語を押さえておくと、資料の読解や論述を有利に進められる。

＃2

論理構成

最初に論点と意見、次に具体例や根拠を述べた後、最後に自分の意見を再びまとめる“序論・本論・結論”の構成が基本だ。何について聞かれているのかを読み取り、論点と結論を明確にして、その結論に至った理由や具体例を述べていく流れを意識すると、読み手に伝わりやすい論述ができる。

＃3

点数アップのコツ

志望校の過去問や出題傾向が似ているテーマの小論文を繰り返し解こう。制限時間を計るなど、入試本番と同じ環境で取り組むと、実践力が養える。解き終わったら、テーマに関連した教科の先生に添削してもらおう。添削結果を踏まえて、同じテーマでもう一度論述すると理解が深まる。

小論文のコツまとめ

- ・ 出題傾向に関連した**時事問題&用語**を**インプット**する
- ・ “**序論・本論・結論**”を意識した、わかりやすい論述を心がける
- ・ 第三者に添削してもらって、**繰り返し書き直す**！

小論文の事例は Web をチェック

